

## 平塚市行政改革推進委員会（事業評価）の結果について

<b>区分</b>	事業 1			
<b>事業名</b>	自治会館等整備助成事業		<b>所管課</b>	協働推進課
<b>評価結果</b>	事業内容の見直し			
<b>評価内訳</b>	<b>現行どおり</b>	<b>事業内容の見直し</b>	<b>国・県</b>	<b>廃止</b>
	0	6	0	0
<b>傍聴者数</b>	21	<b>ネット中継 視聴者数</b>	4	

※「傍聴者数」「視聴者数」は、開始後 10 分経過時点の状況を記載しています。

### 事業評価シートの記載内容

<b>委員長</b>	<b>評価結果・視点</b>	「事業内容の見直し」-「その他（統廃合）」
	※「市民ニーズと合致していない」「手段が目的化している」という視点からも再検討が必要。 ・ 人口動態、会合士の距離、交通等利便性、利用度、災害等リスクアセスメント等をきめ細かく分析、評価し、今後統廃合をしていくべきであると考え。	
<b>副委員長</b>	<b>評価結果・視点</b>	「事業内容の見直し」-「対象」-「対象者の縮小」
・ 新設が必要かどうかの検討期間を 1～2 年おいてから、改修や維持、補修に重点を置いた助成にしてもよいのでは。		
<b>A委員</b>	<b>評価結果・視点</b>	「事業内容の見直し」-「対象」-「対象者の縮小」
・ 自治会館の統廃合も含めて、市が自治会館の新設、建替時には指導力を発揮してほしい。 ・ 補修時の助成が 3 万円以上からとなっているが、実態を反映した形で、10 万円又はそれ以上の場合に助成する形にしてはどうか。		
<b>B委員</b>	<b>評価結果・視点</b>	「事業内容の見直し」-「対象」
・ 新設の方向だけではなく、縮小、共同利用、売却なども視野に入れるべき。利用率を軸に基準を作り整理を進めてみてはどうか。また、補助金の中で貸貸を促進してはどうか。自治会館を置くのは良いが、空き家問題もある中、縮小の手続きが整備されていないことに不安を感じる。		
<b>C委員</b>	<b>評価結果・視点</b>	「事業内容の見直し」-「その他（市の助成額の削減）」
・ 市、自治会、地区住民が地域づくりに力を注いでいると思う。しかし、人口減少、高齢化の進展など社会経済情勢の変化、さらには市の財政状況も考慮しながら見直しが必要と思う。具体的には土地の購入、建物の新設への助成、会館の維持管理に伴う助成などほぼ会館が充足されていると考え、時代に即した削減、自治会館の共同使用などにより、管理費、維持費を含め削減をしてほしい。なお、自治会とは十分な理解を得たうえで進めてほしい。未保有の不便さ 21.4%を十分認識してほしい。		
<b>D委員</b>	<b>評価結果・視点</b>	「事業内容の見直し」 -「その他（地域によって自治会活動に差があるので役員のみでなくアンケートでも）」
・ 地域によって自治会活動に大きな差があるので、会館の利用目的、団体等が偏らないように指導した上で制度を実施。		